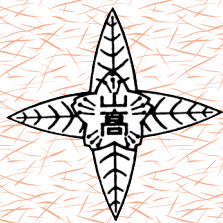


第80号

編集・発行
日本大学山形高等学校
図書部
図書委員会

発行日
令和7年2月19日

(株)大風印刷



日大山形

図書館報



読書のすすめ

未来を拓く力を育むために

教頭林 充彦

皆さんは、日々の生活の中で「読書」にどのような価値を感じているでしょうか？

学業や部活動、友達との交流で忙しい日々を送る中、読書に時間を割くことは難しいと感じる人も多いかもしれません。しかし、読書は皆さんの未来をより豊かにし、可能性を広げる大きな力を持っています。私が考える読書の持つ魅力と意義について述べたいと思います。

読書は「知識を深める」手段であると同時に、「想像力を養う」場でもあります。本を読むことで私たちは、他人の視点や考え、異なる文化や歴史、科学的な知識に触れることができます。これらは単なる情報ではなく、皆さんがこれから社会で生きていく上で必要な「多角的なものの方」を育てる土台となります。特にこれからの社会では、異なる背景を持つ人々と協力し、問題を解決していく力が求められます。そのためには、多様な価値観を理解し、尊重する姿勢が重要です。読書を通じて得られる「他者理解」は、その基礎を築いてくれるのです。

読書は皆さんの「表現力」や「思考力」を鍛えます。本を読むことで、言葉の使い方や表現の豊かさに触れることができ、自身の語彙力や文章力が向上します。特に、文学作品やエッセイを読むことで、感情をどのように表現するのか、論理的に自分の考えを伝えるにはどうすればよいのかを学ぶことができます。これらは学校生活だけでなく、社会に出た後も役立つスキルです。大学受験のための小論文や面接、将来の仕事の場面で、読書を通じて培った力が発揮されることは間違いありません。

読書には「心を豊かにする力」があります。忙しい日々の中で、時に心が疲れることもあるでしょう。そんな時、本の世界に没

頭することで、現実から少し離れてリフレッシュできるのです。物語の中で登場人物と一緒に笑ったり、泣いたりすることで、自分の感情を解放し、心を癒す効果も期待できます。そして、自己啓発書や哲学書、詩などに触れることで、自分自身を見つめ直し、新たな視点を得ることもできるのです。

読書は単なる趣味ではなく、学びを深める「自己成長のツール」でもあります。高校生活は皆さんが大人になるための準備期間です。この時期に多くの本に触れ、知識を吸収することで、自分自身の可能性に気づき、目標に向かって進むための道筋を見つけるきっかけとなります。

私が昨年四月に出張で東京に行った際に、日本大学本部近くの本屋で手に取ったのが『稲盛和夫 魂の言葉108』という本でした。昨年四月から教頭になった私は、日大山形発展のために何ができるかを考えている最中でした。その方向性を示してくれたのがこの本でした。稲盛和夫氏は、京セラの創業者で京セラを世界の一流企業に育て上げるとともに、KDDIの設立・経営に携わり、二〇一〇年には赤字続きで経営危機に陥っていた日本航空の会長に無報酬で就任し、翌期には経常利益一八〇億円の高収益企業に生まれ変わらせることに成功した、経営の神様の存在です。この本には、稲盛氏が「人間として何が正しいのか」を自分自身に問いながら会社経営をしてきた生き方・考え方などが書かれています。将来起業したい、会社経営を志したいと考えている人には是非読んでもらいたい一冊です。

読書は、知識を広げ、感性を豊かにし、未来への力を育む最高の手段です。ぜひ一冊の本を手に取り、そこから得られる新たな世界を楽しんでください。皆さんの成長を心から願っています。

稲盛和夫 魂の言葉108

335.1
イ

稲盛和夫 著述

稲盛和夫 著述

宝島社

私の読書道

第25回

読書について

教諭 丹野 恵 太(英語)

振り返ると高校時代、読書をすることはほとんどありませんでした。読書感想文を書くために、年に一冊程度しか本に触れる機会はありませんでした。高校三年次の受験の際には、事前に最近読んだ本に関するレポートの提出を求められ、当時何を讀んだら良いのか頭を悩ませた記憶があります。当時の担任に相談した結果、山形県出身ということで井上ひさしさんの『モッキンポット師の後始末』を讀みました。学生三人組が生きていくために悪知恵を働かせ、モッキンポット師がその後始末をしていくという物語です。なぜモッキンポット師はこの三人組を決して見捨てないのか考えながら読み進めていました。

大学時代も自ら本を手取るような学生ではありませんでした。教職課程を履修していたので、英語科教育法や第二言語習得理論にかかわる本は讀みました。英語でディスカッションをする授業では、アーネスト・ヘミングウェイの『老人と海』を讀みました。腕利きだが何日も魚を獲ることができない漁師と、それを慕う少年との物語です。この授業の中では場面ごとに考察をしなければならず、本を讀みながら物語の楽しさを味わうというよりは、ディスカッションの中でこういった発言をしようか常に考えており、物語の展開を楽しむことができませんでした。

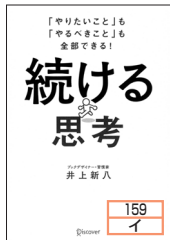
最近讀んだ本の中で紹介したいのは、井上新八さんの『続ける思考』です。日々の忙しい生活の中で、何かをやり続けるのは誰にとってもとても難

しいことです。著者自身が、様々な仕事を抱えながらも毎日無理することなくやるべきことを習慣化できている理由を述べています。「続ける」ために個人的に重要だと思ったものを紹介します。まず、最初から効率を求めないということです。物事に初めて取り組むときは知らないことだらけで、試行錯誤しながら進めていくと思います。最終的には簡単に、効率的にできる方法にたどり着くこともあると思いますが、そこにたどり着くまでに自己流で失敗を繰り返すことで応用力が身につきます。ゲームと同じで、最初から攻略法が分かっていたら面白くないですね。次に、毎日やるということ。例えば週に三日やると、週にやらない日が四日あります。そのうちやらない日がどんどん増えていき、全くやらなくなってしまうます。例外の日を作らないのが重要です。人間の意志は強くないので、毎日続けることで初めて続けるようになります。最後にいつやるかを具体的に決めることです。朝起きたらすぐ勉強する、歯を磨いたら筋トレをする、といったように何時にするかより毎日行っていることや、定期的な行事と組み合わせることで、実行しやすくなり、継続することができ

ます。

読書をして損することはないと思います。読書をするたびに、新たな気づきや発見があります。ぜひ図書館や書店に足を運び、お気に入りの一冊をみつけてください。

※このコーナーは、図書選定委員の先生方のリレー形式となっています。



としょかんニュース

林真理子理事長来校！

五月一日(水)、林真理子日本大学理事長が来校され、本校生へ向けて講演を行いました。校内の見学の途中で図書館に立ち寄られた際には、図書委員の生徒が作った理事長の特集コーナー等をご覧になっていました。



ビブリオバトル2024山形県大会

十一月十六日(土)、山形市中央公民館で「全国高等学校ビブリオバトル2024山形県大会」が開催されました。本校からは一名参加し、決められた時間の中でおすすめの本をプレゼンテーションしました。



出場した佐藤凜海さん(2年)

公共図書館の高校生連携企画に参加

県立図書館では、「高校図書委員がおすすめする本」として七名の図書委員が作成したポップが十二月から一月にかけて展示されました。また、市立図書館の新春企画「本の福袋」に参加。市民に貸し出される「福袋」のテーマと、中身の三冊を考え、十二セット作りました。どちらも二年連続参加。また機会があれば参加したいです。

■令和6年度 日本大学山形高等学校芸術鑑賞会 期日：令和6年5月23日(木)

パーカッションブラスエンターテインメント PPP★BRASS!!

打楽器パーフォマンスを通して

二年八組 渡邊 果恩

五月に芸術鑑賞会が行われ、PPP★BRASS!!による演奏を楽しみました。鑑賞会では、ただ座って聞くだけではなく手拍子や、立って全身を使い、知識関係なしに会場全体で盛り上がりました。

序盤は管楽器の豪華なサウンドと打楽器のパーフォマンスに圧倒されました。中盤からは打楽器のみの演奏となり、どこかで聞いたことがあるような、知っているような曲なのですが、息の合ったタイミングやリズム、見ていて楽しい演出と、目が釘付けになるような「魅せる」演奏でした。

演奏だけではなく、トークでも盛り上がったこの演奏会で特に印象に残ったのは、演者の方々の笑顔でした。普通に演奏をする上に歩いたり動いたり大変なはずなのに、とても楽しそうに演奏していました。それを受けた私達も手拍子などをしながら楽しんで、まさしく会場全体が一体となったステージでした。



令和6年度図書館講座 日程

	春の講座	秋の講座
練習会#1	5月28日(火)	10月15日(火)
練習会#2	6月4日(火)	10月22日(火)
練習会#3	6月11日(火)	10月29日(火)
本番	6月18日(火)	10月31日(木)
生徒参加数	1年生 1名 2年生 4名 3年生 2名	1年生 1名 2年生 6名

今まで図書館講座として秋に読み聞かせの講習をやってきましたが、今年度から春と秋の二回、開講することになりました。初めての年二回。二回連続で参加した人もいれば、計画的にどちらか一方を選んで参加した人も皆さん楽しかったようでした。

令和6年度

図書館講座

～読み聞かせをしよう～

読み聞かせを

振り返って

一年七組 本間 風花

春の回の練習では緊張して最初の方は声が小さかったり、うまくページがめくれなかったりしましたが、先輩方や先生が優しく教えてくださったところのおかげで苦戦していたところもできるようになりました。春は幼稚園に訪問しました。園児のみんなは元気いっぱいでしたが、絵本を読み始めるとみんな静かに聞いてくれたので嬉しかったです。秋の回では、学童を訪問しました。小学生を相手に読むので絵本選びが少し大変でした。しかし、春の回よりもわかりやすいように読めたので良かったです。読み聞かせは言葉遣いに気を付けたり、人とのコミュニケーションができる大切な機会だと実感しました。来年もぜひ参加したいです。



練習会の様子



春の講座 緊張の本番



秋の講座 学童保育の児童たちと

講座後にアンケートを実施しており、ほかの参加者からも様々な声をもらっています。

◆昨年に引き続き読み聞かせに挑戦しました。幼稚園児に読むのは初めてでしたが、園児たちは読み聞かせをする前は騒がしい感じだったのに、読み始めると集中して静かになったのがおもしろかったです。(二年女子)

◆笑顔で接することで子どもたちから心を開いてくれて、コミュニケーションがとりやすくなりました。(二年女子)

◆次回参加する時があったら、絵本のチョイスを子どもたちが親しみやすい絵本を選ぶようにしたい。(二年男子)

◆本番では、最初はとっても不安と緊張でいっぱいだったけど、幼稚園の子たちの笑顔とかを見ると不安もなくなり、楽しく本を読むことができました。ききとつても良い機会でした。(三年女子)

年間図書貸出ベスト10

書名	著者名	請求番号
1位 『変な家』	雨 穴	913.6 ウ
2位 『君に選ばれた人生だった』	メンヘラ大学生	913.6 メ
3位 『余命一年と宣告された僕が、余命半年の君と出会った話』	森田 碧	913.6 モ
4位 『変な家2』	雨 穴	913.6 ウ
5位 『成瀬は天下を取りにいく』	宮島 未奈	913.6 ミ
6位 『リカバリー・カバヒコ』	青山美智子	913.6 ア
7位 『成瀬は信じた道をいく』	宮島 未奈	913.6 ミ
8位 『ソードアート・オンライン1』	川原 礫	913.6 カ
9位 『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』	汐見 夏衛	913.6 シ
10位 『デュラララ!!』	成田 良悟	913.6 ナ

令和7年1月31日現在

今年も『変な家』が、2年連続で1位になりました。他には、今年度映画化された原作本や本屋大賞にノミネートされた本もあります。また、バンドの楽曲が素となった小説や以前から読まれているライトノベルなどもランクインしました。SNSなどで話題になった本が、多く読まれているようです。

ベスト10以外にも皆さんが興味を持つような本があると思うので、ぜひ図書館に通ってください！ (2年 加藤 秋月)

〈令和6年度 多読クラス賞〉

- ★1年生(学年平均0.6冊) 6組 1.1冊
- ★2年生(学年平均1.1冊) 5組 3.5冊(次点 8組 3.1冊)
- ★3年生(学年平均0.8冊) 4組 2.7冊(次点 7組 1.8冊)

*令和6年4月～11月までの貸出冊数÷クラス人数で集計。
クラス成績は1.0冊以上のみ記載。



〈令和6年度ベストリーダー賞〉

コース部門

スポーツコースの部

★該当者なし

進学コース

- ★1位 K・Nさん(10冊)
- ★2位 M・Sさん(8冊)
- ★3位 M・Wさん(6冊)

特進コース

- ★1位 C・Hさん
K・Wさん
Y・Mさん(9冊)
ほか5名

学年部門

1年生の部

- ◆1位 A・Nさん(34冊)
- ◆2位 A・Kさん(14冊)
- ◆3位 K・Mさん
M・Sさん(12冊)
ほか7名

2年生の部

- ◆1位 T・Kさん(78冊)
- ◆2位 R・Tさん(52冊)
- ◆3位 M・Mさん(31冊)
ほか7名

3年生の部

- ◆1位 M・Yさん(82冊)
- ◆2位 T・Tさん(43冊)
- ◆3位 R・Eさん(22冊)
ほか7名

*コース部門は学年部門からもれた人が対象
※両部門とも、令和6年4月～令和7年1月までの個人の総貸出冊数で集計

発表!

多読クラス賞&ベストリーダー賞2024

私の一冊

『流星の絆』

何者かに両親を惨殺された三兄妹は、流れ星に仇打ちを誓う。十四年後、三兄妹に犯人を突き止める最初で最後の機会が訪れるが、妹の恋心により完璧な復讐計画が大きく狂ってしまう。

この小説は、互いのことだけしか信じていることができなくなってしまった三兄妹が、今を懸命に生きながらも過去に起きた事件の真実を探るという、時系列はバラバラですが、読み続けていくとどこかに繋がりを見出すことができる物語となっています。自分の過去に気がかりなことがある人や、自分が今一番大切にしたい人がいるのかを考えている人に、手を差し伸べる一冊となるでしょう。

『変な絵』

私がおすすしたい本は『変な絵』です。書名の通り、少し不吉な絵が何枚もでてきます。

「見れば見るほど、何かがおかしい?不穏なブログ」「消えた男児」「惨殺死体」「補導少女」……そんなたくさん謎が、奇妙な絵によって明かされていきます。その衝撃の真実とは!?……というお話です。

ストーリーは章によって分けられているのですが、それぞれのストーリーが全て繋がっている、読み終えた時にすごく納得できると思います。伏線回収や、叙述トリック的な部分もあるので、飽きずに最後まで楽しめます。あの有名でみんな大好き栗原さんも活躍するとか、しないとか。是非ご自身で確かめてみて下さい。きっと、面白かったと思えるような一冊です。

『「好き」を力にする』

私が面白いと思った本は、『「好き」を力にする』という渡邊雄太選手の本です。ほとんどの教訓が基礎的なもので、忠実に基礎を重ねることの重要性を再認識することができました。

また、彼が中学時代に膝に負担のない練習を見出し、住宅街の離れにある空き地の所有者にリングの設置をお願いしてシューティング練習を続けた結果、正確で素早いシュートが身についた、と書かれていました。私は、環境のせいにするのではなく、自分から行動して夢に向かって諦めずに地道に努力をし続けていけば、夢を叶えることができるかわからないですが、自分にとって大きな財産になると思いました。

東野 圭吾 著



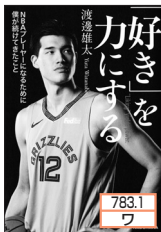
一年五組 會田 紗也

雨 穴 著



二年四組 星 文登

渡邊 雄太 著



三年二組 武田龍之介

図書委員会活動報告

活動目標● 広報活動を通して誰でも立ち寄れる図書館にする
キャッチフレーズ● あなたの推し本、見つけませんか？



一年の活動を通して
前期委員長 三年八組 渡邊 結音

委員長としてこの一年、たくさんの活動を行ってきました。その中でも特に印象に残っているのが、桜華祭での古本市です。本の値段や会場のレイアウトなど、どのような工夫を凝らせばお客さんに立ち寄ってもらうことができるかたくさん考え、実行することができました。

校舎改築のため二号館の図書館での活動は、この冬で最後になってしまいました。今後も本の貸し借りだけではなく、様々な活動を通して生徒の皆さんが来てくれるような図書館をつかっていってほしいと思います。今後も図書委員会の活動をよろしくお願いします。



委員長としての抱負
後期委員長 二年六組 横倉 沙耶

私は、図書館を「もっと身近で、みんなが利用しやすい場所」にすることに力を入れたと考えています。特に、委員会や生徒の皆さんの意見を積極的に取り入れながら、本の特集コーナーやイベントを企画し、より多くの人が図書館を訪れるきっかけを作りたいと思います。また、快適な環境を整えるための改善にも取り組み、図書館を学びと交流の場としてさらに発展させたいと考えています。

本を通じて、たくさんの発見や楽しさが広がる図書館を目指していきたいです。

令和6年度 図書委員会

月～土曜日の6つの班があり、A(読書推進)、B(資料装備)、C(広報データ)の3グループに分かれています。執行部を中心に利用しやすい図書館を目指し、日々活動しています。

8組	7組	6組	5組	4組	3組	2組	1組	1年生
鈴木 成偉	堀 直太郎(前)	東海林紗帆	會田 紗也	半田 瑠愛	佐東 亜蓮(前)	朝倉 大馳(後)	落合 大翔(前)	
武田 陽稀	菅野 和来(後)	中川 瑛仁	山崎 楓香	藤木あおば	金 莉奈(後)	菅原 煌大(前)	星 諒磨(前)	

委員長		3年8組	渡邊 結音
副委員長		3年6組	庄司 奈桜
総務		3年8組	原田 桃花
グループリーダー		3年9組	岩瀬 暁人
グループ		3年7組	横山 彩乃
グループ		3年5組	渡邊 花緒
2年生代表		2年6組	伊藤 翔秀
委員長		2年6組	横倉 沙耶
副委員長		2年5組	加藤 秋月
グループリーダー		2年6組	伊藤 翔秀
グループ		2年3組	梅津 伶未
グループ		2年9組	村山結衣香
1年生代表		1年8組	武田 陽希

9組	8組	7組	6組	5組	4組	3組	2組	1組	3年生	10組	9組	8組	7組	6組	5組	4組	3組	2組	1組		
岩瀬 暁人	原田 桃花	遠藤竜之介	庄司 奈桜	大久保瑠花	小松 萌姫	奥山陽朗人	武田龍之介	伊豆田佑希		加藤 信誠	澤村 優希(前)	佐藤 凜海	原田 奈央(前)	伊藤 翔秀	加藤 秋月	布川 夢華(前)	奥山 健太	黒澤 姫咲(前)	梅津 伶未	進藤 陸来	佐藤 悠友
里見 幸紀	渡邊 結音	横山 彩乃	政野 海洋	渡邊 花緒	高橋 日菜	金澤 忠信	渡部 友太	原田 森		永井 芳昊	尾上 晴隆(後)	渡邊 果恩	大沼 圭司(後)	横倉 沙耶	今野 紡	星 文登(後)	須藤 悠生(後)	須藤 健琉	関 一樹		



「後期執行部です。本の事は、私達に聞いてください!!」



本を移動したり
バーコードを読んだり



箱にリストを貼ったり箱詰めしたり



業者さんが本の段ボール箱を
どんどん運んでくれました。



段ボール箱の運搬や、箱を開けて並べる作業も3年生の一部の皆さんにもご協力いただきました。ありがとうございました。

4月～6月

閉架書庫の箱詰め
6号館3階の仮設図書館へ書類等の移動を少しずつ開始。

夏休み

学習会後、図書委員や図書館担当の先生方で開架書庫箱詰め準備。

11月

11月30日(土)

図書委員や先生方全員で箱詰め。
これまでの図書館とはお別れ。約58年間、図書館としてお世話になった部屋です。「今までありがとう！」

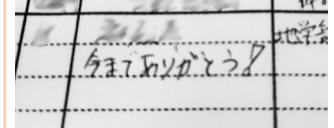
12月 2日(月)～

閉館。開架書庫・閲覧室の箱詰め
6号館3階の仮設図書館や新開架書庫となる旧食堂等に箱詰めした本を移動。その後、箱を開けて本棚に並べて完成！

1月8日(水)

6号館3階仮設図書館オープン！

<現在の仮設図書館>
4つの部屋に分かれています。



11月30日(土)、利用者名簿最後の記入者が書き残していきました。感謝ですね。

校舎の工事に伴い
仮設へ移転しました！



ライブラリーフォト

～図書館・図書委員この1年～

4月 前期図書委員会



8・9月 桜華祭 古本市



11月 後期委員会



5月 図書選定



6月 雑誌リサイクル



11月 県高教研図書館部会
村山支部 図書委員研修会



図書選定



編集後記

上の記事にあるように、校舎改築のため仮設図書館に移転しました。本棚や机等が運び出された旧館内は、がらんとして話し声がよく響くことに驚いたと同時に、寂しさを感じました。現在、仮設図書館が稼働して約2ヶ月が経ちます。利用者の足が遠のくと思いましたが、学習スペースは以前とほぼ変わらず埋まっています。環境が変わっても、必要とされていることは嬉しいだけでなくありがたいと感じます。利用者が必要としている情報を、不便を感じさせることなく届けられるよう、環境整備をしていきたいと思ひます。

(芳賀)